

令和7年度第2回あわら市国民健康保険運営協議会会議録

日 時 令和8年2月4日(水)

19:00~20:00

場 所 あわら市役所 102 会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 会議録署名委員の指名

4 諮問事項

- ・あわら市国民健康保険税率の改定について

5 報告事項

- ・令和7年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(案)について
- ・令和8年度あわら市国民健康保険特別会計予算(案)について

6 その他

(出席委員)

道谷 成雄	内田 真理子	佐々木 誠三	中嶋 豊美	新家 信行
坂井 健志	前原 正典	池田 美由	赤尾 政治	徳丸 敏郎
田中 洋美				

(欠席委員)

朝倉 哲哉

(事務局)

市民生活部長	江川 嘉康	市民課長	磯部 佳代子
市民課長補佐	小嶋 裕子	市民課主幹	山田 佳子
税務課長	中島 之裕	税務課長補佐	村越 一仁

【2 会長挨拶】

【3 会議録署名委員の指名】(徳丸委員を指名)

【4 諮問事項】

- ・あわら市国民健康保険税率の改定について  
(市民課長が説明)

【質疑応答】

委 員 令和7年度の保険税と比較すると、令和8年度の保険税では医療分は下がり、後期支援分と介護分は上がっている。保険税全体として、被保険者の負担は増えるのか、減るのか。また、子ども・子育て支援金を除いた場合、将来的に保険税は上がっていくのか。

事務局 今回の改定案では保険税負担はわずかに増える見込みである。標準保険料率の所得割は11.35%に対し、原案では11.05%。均等割は標準保険料率52,345円に対し原案では47,800円、平等割は標準保険料率31,971円に対し原案では31,250

円としている。県の標準保険料率の変動するため断定はできないが、将来の保険税については、引き上げが必要になる可能性がある。今回の改定では、当初は標準保険料率との差の1/3ずつ徐々に近づける予定であった。しかし、子ども・子育て支援金の追加により保険税が大幅に上がることへの懸念、他市の状況、繰越金や基金など財政状況を踏まえ、結果として前年度並みの負担となるよう設定した。

- 委員  
事務局 子ども・子育て支援金とは、いつから、どのようなものか。  
いわゆる、異次元の「子ども・子育て支援制度」の財源となるもので、令和8年度から開始される。すべての保険者が負担する仕組みである。
- 委員  
事務局 後期支援分と介護分の増額は、高齢化率の上昇が影響しているのか。  
はい。その他、あわら市はもともと医療分の税率が高く、逆に後期支援分と介護分の税率が低めに設定されていたという経緯も影響している。
- 議長 他に質問はないか。無ければここで採決をとりたい。原案のとおり承認される方は挙手を願う。挙手全員、諮問事項は原案のとおり承認する。

#### 【5 報告事項】

- ・令和7年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算（案）について
- ・令和8年度あわら市国民健康保険特別会計予算（案）について  
（市民課補佐が説明）

#### 【質疑応答】

- 委員 補正予算のうち、保険給付費が1億8,000万円減額となっているが、減額幅が大きいように感じる。その理由は何か。
- 事務局 当初予算は不足が生じないよう多めに見積もる傾向がある。今年度は当初見込みより療養の給付件数が少なかった。国保被保険者数の減少に伴い医療費が減少したほか、高額療養費も見込みより少なかった。最近の医療費支払い状況を申しますと、毎月およそ1億4,000万円程度だが、今月は1億1,000万円と、これまでよりかなり少ない金額となっている。
- 委員 当初予算の歳出で、保健事業の特定健診費が増額というのはなぜか。
- 事務局 単価が上がったためである。
- 議長 質問はないか。無いようなので、日程6その他に移る。

#### 【6 その他】

- 事務局 次回の日程、報酬振込について説明
- 議長 これで今日の議事は終了する。

議長

会議録署名人